第40回鴨川市史編さん委員会会議録

- 1 日 時 平成30年3月7日(水)
午前11時～午後2時50分
- 2 場 所 鴨川市文化財センター学習室
- 3 出席委員 3名(小谷善親委員欠席)
中嶋八良・佐藤恵重・高林直樹
- 4 事務局 文化振興室長 石川 丈夫(所用により途中退席)
主査 高橋 誠
- 5 傍聴者 なし

- 6 本日の協議事項
 - (1)『西条のあゆみ』の校閲について
 - (2)次回会議の公開又は非公開について

開 会 午前11時

- (1)事務局は、会議を開会する旨を告げ、3名出席・1名欠席で会議は成立している旨、公開の会議だが傍聴の申込はなかった旨を報告。
- (2)石川文化振興室長よりあいさつを行った(あいさつ後所用により退席)。
- (3)事務局より日程・資料の説明を行った。

議 事

事務局は、議長は鴨川市史編さん委員会設置条例第5条第1項の規定により、中嶋委員長に願う旨を告げた。

会議録署名委員の指名

- (1)議長は、会議録署名人の指定について諮る旨を告げた。
- (2)議長は、鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項(会議録の作成)の規定により議長の指名で、全員異議なく次の委員を選定、承認された旨を述べた。

佐藤 恵重 委員

議事の説明

議長は、議事「(1)『西条のあゆみ』の校閲について」を議題とする旨を告げ、

事務局に説明を求めた。

議事（１）については、事務局・高橋主査が説明をした。

協議

議長は、これより議事（１）について質疑及び意見を求めた。

佐藤委員：見出しの村名のフリガナをどうするか。前のページで一度、つけている。

議長：しつこいくらい入れた方が良い。ページを飛ばして読む人もいる。

議長：差出帳の内容の記述が、段落全体にかかっている。わかりにくい。まとめてほしい。

佐藤委員：「紹介してみよう」という形にしてみる。

高林委員：引用文扱いでまとめたらどうか。

議長：その方がわかりやすい。

高林委員：以前もあったが、「内」は「うち」で統一する。

佐藤委員：「樵木薪」の読み方はどうするか。

議長：意味は何か。

佐藤委員：わかりやすく「きこりをしたり、薪を取ったり」に変えるか。

議長：その方がわかりやすい

高林委員：「小松木」とは小さい松でよいのか。

佐藤委員：おそらくそうだと思う。

高林委員：訴えの内容については、引用文として改行・２字下げにしたらどうか。

議長：確かに長く、わかりにくい。

佐藤委員：改行する。

高林委員：「旦那」はこの字でよいか。「檀那」ではないか。

佐藤委員：史料では「旦那」を使っているが、「(檀家)」を追加する。

高林委員：村の総人口の比較が、本文だと三十七人、差出帳と比べると三十八人となっている。どちらを取るか。

佐藤委員：先に差出帳の人口が出ているので、そちらに合わせる。

議長：中打墨村について、比較的文量が少ないが。

佐藤委員：記録や記事がほとんどなかった。そのため関連する流鏝馬の件を入れた。

高林委員：後述の説明が「六地藏」「庚申塔」の順になっているので、冒頭も「六地藏」「庚申塔」の順にした方が良い。

高林委員：「内容によって、例えば」の部分の文章がつながらない。

佐藤委員：不明のことが多いので、他の史料から推測しての文章。簡単に「しかし」に変える。

高林委員：主語が「長谷川平蔵」なのか「松平左金吾」なのかははっきりしない。

佐藤委員：「と」を「も」に、「年」を「役」に変える。

高林委員：「お岩さん」はあのお岩さんか。

佐藤委員：違うと思われる。誰かはわからない。

佐藤委員：武志伊八の部分は、石川文化振興室長に校正を依頼している。

議長：もう少し文量を増やしてもよいのではないか。

事務局：そのように伝えます。

議長は、ここで会議を一時休憩とする旨を告げた。

休憩：午後0時から午後1時まで。

議事の説明

議長は、会議の再開を告げ、質疑及び意見を求めた。

高林委員：「東条村」と出てくるが、江戸期も東条村か。

佐藤委員：確認します。

高林委員：和泉山の入会訴訟関係が長い。どこかで改行したほうが良い。

議長：読みやすく、適当なところで願います。

高林委員：山に入っていないのに山銭を払っている、ということで良いのか。

佐藤委員：そういった例があった。権利主張の根拠となっていた。

佐藤委員：「一郡」の後に「(長狭郡)」を追加する。

議長：寺社の読み方がわかりにくい。小字名も読めない。

佐藤委員：フリガナをつける。

高林委員：「嫡州伝承」は、名前か、それとも伝承という意味か。

事務局：『西条村誌』にそのまま記載されています。

議長：名前と判断する。

佐藤委員：「廻り塚」の「り」は入るか。

事務局：小字では「り」が入る。伊八関係史料では入らない。

佐藤委員：宝国寺と竜蔵院の場所が違っている。現在、宝国寺が建っている場所に、
竜蔵院があった。

高林委員：「久遠実成」のフリガナをどうするか。

佐藤委員：意味は？

事務局：仏教用語。歴史上の人物の釈迦は仮の姿で、釈迦は永遠に教えを説いてい
るとの考え方。

佐藤委員：説明が難しいので、フリガナをつけておく。

高林委員：「天平勝宝度」は統一表記にした方が良い。

佐藤委員：「度」を「年間」にし、西暦を追加する。

高林委員：本文は「延文二年」、市史では「延文三年」となっている。どちらか。

佐藤委員：確認する。

佐藤委員：疵洗いの井戸は、真言宗の蓮花寺に近く、日蓮宗の蓮行寺との関連性は？

事務局：井戸は蓮行寺の管理。関連性は確認します。

佐藤委員：「償伏」の字があるか。

事務局：当用漢字にはありません。

佐藤委員：フリガナをつける。

高林委員：「安政十二年」はそんなにない。

佐藤委員：史料はこのとおりになっている。

事務局：『西条村誌』は「安政年間」。

議長：引用部分なので、変えてしまうのも問題。

佐藤委員：括弧書きで「ママ」と入れる。

高林委員：「宥源代」は名前か。

佐藤委員：代理と時代の両方の意味があるが、詳しくはわからない。

高林委員：打墨神社の成立は、市史に昭和七年四月三日で十周年祈念祭と書かれているので、本文と食い違う。

佐藤委員：その部分を追記する。

高林委員：祭神の名前で、読みは一緒だが、字が違う場合はどうするか。

佐藤委員：ふりがなをつけておく。

高林委員：「共進指定社」の意味はわかるか。

議長：ニュアンスは取れるが、あればあった方が良い。

佐藤委員：「日蓮」の「蓮」の字は特殊なので印刷業者に作ってもらう予定。

ほかに質疑・意見を求めたが無く、議事「(1)『西条のあゆみ』の校閲について」は、終了した旨を述べた。

事務局に、意見に沿って、業務を進めるよう求めた。

議事の説明

議長は、記事「(2)次回会議の公開又は非公開について」を議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議事(2)については、事務局・高橋主査が説明をした。

- ・平成30年6月頃に第41回市史編さん委員会を予定。
- ・内容は、平成29年度実績報告、平成30年度実施計画、『西条のあゆみ』の校閲について、次回会議の公開又は非公開について、である。

以上のような次第で、あえて非公開としなければならないような内容ではないと思う旨を述べた。

協 議

議長は、これより、議事（2）について質疑及び意見を求めた。

全委員 ・公開で良いだろう。

議 決

議長は、議事「（2）次回会議の公開又は非公開について」は、「公開」とすることに委員全員の賛成をもって決した旨を告げた。

議長は、以上で議事を終了した旨を告げた。

事務局は、他に意見を求める旨を告げたが、意見はなく、本日の日程は全て終了したので、第40回鴨川市史編さん委員会会議の閉会を宣した。

閉 会 午後2時50分

以上会議の顛末を記し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成30年3月23日

署 名 委 員

委 員 佐藤 惠重